

「#ESAT-J実施状況調査2024」まとめ

2024年12月4日

入試改革を考える会

都立高校入試 英語スピーキングテストに反対する保護者の会
都立高校入試への英語スピーキングテスト導入の中止を求める会
中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) の都立高等学校の
入学者選抜への活用を中止するための都議会議員連盟

11月24日(日)に実施された、東京都教育委員会の「中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J YEAR 3)」の実施状況について、中学3年生をはじめとする試験の当事者を対象に行ったアンケート調査の結果をご報告します。この調査はESAT-J開始以来毎年行い、今年で3回目になります。

ESAT-J YEAR 3は、今年度は43億円、6年間で210億円の巨額を投じる予定で、今年度からブリティッシュ・カウンシルにより実施運営されます(昨年度までは(株)ベネッセ・コーポレーション)。試験結果は都立高校入試に活用される予定です。

都教委は24日、テストの実施状況について「機器の不具合のために、試験終了時刻の遅延が一部の会場で発生した」と公表し、11月29日の都議会文教委員会では、「遅延が一部の会場で発生したものの、試験は適切に実施された」と述べました。

しかしアンケート調査からは、「適切に実施」どころかこれまで以上にずさんな試験運営がされ受験生は多大な被害を受けたこと、都教委は事実を隠蔽していること、試験結果の入試活用など到底不可能な状況であることが明らかになりました。

都教委が、このまま隠蔽をつづけ、不公平な結果の入試活用を強行することは、中学生、保護者、都民への裏切り行為に他なりません。都教委は、客観的事実とその原因を詳細に公表・謝罪し、試験結果の入試活用は中止することを強く求めるものです。

.....

【調査の概要】

- ・アンケート期間：11月24日(日)16時～11月30日(土)24時
- ・アンケート対象：中学校3年生や保護者、中学校教員、試験監督などESAT-J YEAR3に実際に関係した方
- ・調査方法：GoogleフォームによるアンケートをX(旧Twitter)で拡散し回答を募集

【回答の状況】

- ・回答総数は186件、うち6割が中学3年生(107件・58%)、3割が保護者(64件・34%)でした。他に、試験運営関係者(試験監督など)9件、中学3年生の家族2件、都内中学校教員2件、塾講師1件、その他1件の回答を頂きました。
- ・試験会場名の記載のあった回答は151件、会場数は78会場でした(全会場数230)。

【回答の概要】

1、待たされたあげく受験できず再試験となった生徒が大量に発生。 他の生徒の解答が聞こえる状態で待機後に同じ試験を受けさせられた生徒も

都教委が公表しているのは、機器の不具合により試験終了時刻が 2 時間程度遅れたことのみです。しかし実際は、長時間待たされたあげく当日に受験できず 12 月 15 日に再受験するように言われた生徒が大量に生じたこと、さらに他の生徒の解答が丸聞こえの状態で待機させられその後同じ試験を受けさせられた生徒もいることが明らかになりました。そうした生徒がいる以上、試験結果を入試活用することはできません。

後述のように、機器の不具合に試験監督はじめ運営側のミスが何重にも重なるずさんな状態です。

また 12 月 15 日は、受験希望者向け説明会を行う都立高校や、都立高校入試（2 月の学力試験）の模擬テストがあり、再受験によりそうした機会が一方的に奪われることへの怒りの声も届いています。

【会場 A】

会場 A について 20 件を超える証言がありました。1 室（30 人程度が受験）で 5 台、10 台とタブレットが不具合になる状況が、複数の部屋で発生し、交換しようにも予備のタブレットが足りず、新しいタブレットが外部から到着するのを待ったことがわかります。

タブレットの不具合が生じた生徒は、本来ならすぐに別室に移動すべきところ、試験を開始できた生徒と同じ部屋で、その解答する声が聞こえる状態で待機させられています。そのため、新しいタブレットが届いても同日に（同じ問題で）受験することができず、12 月 15 日に再受験するように言い渡されたとのことでした。

タブレットの不具合に加え、試験運営の不手際により被害が拡大しています。

（周りの解答が丸聞こえのなか待機。17 時まで待たされたあげく再受験に）

- ・「タブレットが不具合を起こし、前半組だったのにも関わらず、周りがテストを実施している中待たされました。周りの人の解答が丸聞こえでした。私が別室へ移動させられたのは前半組のテストが終わってからだったので、3 時半まで自習と言われました。同じフロアの中で 30 人近く受けられず別室にいました。4 時ぐらいにタブレットの代替え機がきたからやります、と言われどうしても用事がある人は報告して下さいと言われました。4 時 40 分くらいまでただ待たされ、やっと来たと思いきや電話番号を聞き始めました。何も報告がない 40 分の間係員が何をしていたか全く理解できません。5 時くらいになって係員に『長い時間待ってもらって申し訳ないのですが、本日のテストは中止とさせていただきます』と言われました。そして 12 月 15 日に再受験してくださいと言われました。受験生の大切な時間を無駄にされて非常に腹が立ちます」（中 3 生）
- ・「試験開示の時点でタブレットに不具合が生じていたにも関わらず再起動以外の対処がおそらく行われていなかった（教室全体の 30 人のうち 5 人ほど）。それにもかかわらず同じ部屋での待機を指示され周りの人が行っているのが丸聞こえの中、無意味な時間を過ごした。前半組の受験終了後ようやく別室に移動し自習を行った。3:30 くらいになって試験官の方から新しいタブレットが到着したとのことがあり待機した。1 時間 30 分の待機。その間試験官からは何が行われているかの説明

もなく不安な時間を過ごした。そうして5時になったころに本日の受験は不可と伝えられた。一体私はなんのために5時間も拘束されていたのか」(中3生)

- ・「10台ほどのタブレットが正常に動かず、10人の生徒はまたされてそのまま試験開始された。10人の生徒はヘッドフォンをしていないので、解答が聞こえる状態だった。この時点で10人の生徒に移動させたりしていないのがおかしいと思った。そして10人の生徒は5時間またされたのに別日に受けることになった。(試験監督、監督補助など)大人が3人もいたのにも関わらず、どんなトラブルがあったなどの報告をしてくれなかったので、ただ待たされていて苦痛だった。どの人もわかっていないことが多くて、こちらも不安になる要素がかなり多かった」

(後半組も遅延)

- ・「後半組でした。14:25の開始時間を過ぎても機材が配られず、何の説明もなく不安なまま1時間半近くただ座っている状態で待たされ、試験が始まったのが15:50、終了したのが16:30過ぎていました。待たされた挙句、結局試験が受けられなかった教室の友達もいました。あまりにもずさんな運営で驚きました。受験生の貴重な時間をなんだと思っているのでしょうか？入試に必要なレベルで公平・公正に行われていません。運営側試験監督の配慮が無さすぎて、中学生に過度な負担がかかっています。今のやり方だったらスピーキングテストなど意味がないと思います」

(アンケートの回答は抜粋です。以下同じ)

さらに会場Aでは、他の生徒の解答を聞いた状態で同じ試験を受けたという証言が複数寄せられています。運営側の不手際により、問題や正解をある程度推測できる状態で受験させられたこととなります。こうした生徒を生じさせた以上、試験結果全体を入試に活用することはできません。

しかも、その対応はおかしいと質問した生徒にたいし「大本の指示がそうなっている」と回答があったとのこと。どんな指示をしたのか、都教委は明らかにすべきです。

(周りの解答が丸聞こえのなか待機。その後同じ問題で受験)

- ・「予定より1時間以上遅れて、正常に機械が作動した人のみ受験。その間、機械が作動しなかった人は、受験をしている人と同じ部屋で待機していました。ヘッドフォンもしていなかったので、受験中の生徒の解答が丸聞こえでした。受験が終わりしばらくしたら、受験が終わった生徒とそうでない生徒が会話できる状態にありました。トイレや廊下で同じ学校の友達と普通に話していました。16:40頃にやっと試験が開始。問題は先ほど機材が使えていた生徒と同一のものでした。」
- ・「タブレットに支障がある人が多すぎて、タブレットに支障がない人が先に始められ、解答丸聞こえだった。業者の対応が遅すぎるせいでテストが始まったのが4:15くらいだった。答えが丸聞こえだから不公平」
- ・「タブレット等の不具合で、本来前半組として受験する生徒が、ヘッドホンを着けずに、他生徒が受験する声を聞いていた。その後、前半に受けられなかった前半組の生徒は、別室に連れていかれ、同じ試験を受けた」

(大本の指示がそうなっている)

- ・「機材トラブルで受験できなかった生徒は回答が聞ける状態にあった問題で受験しても良いのか、というような質問が生徒からも挙がりました。それに対しては、大本の指示がそうなっている、というような回答でした」

【会場B】

試験監督のミスで20人以上もの再試験が生じたとの証言が複数ありました。下記の証言によれば、試験監督は、開始の合図でミスをし、開始しなかった生徒をそのまま同じ教室で待機させ他の生徒の解答が聞こえる状態にするというミスをし、さらに、解答を聞いているのにあとから別室受験させるというミスをし、それに気づいて後日再試験を言い渡したと推測されます。

つまりこの会場でも試験監督が何重にもミスをしており、被害が拡大しています。

- ・「試験官のミスで22人が再試験になった」
- ・「試験監督のミスでスタートにばらつきが出た。一旦やめさせず、やった子とやってない子にわかれた。結果スタート押してなかった数名は別室で試験。スタート押した子は後日再試験で帰宅。が、スタート押してなくて当日別室で受けた数人も再試験。意味がわからない」（保護者）

【会場C】

機材トラブルで遅延し、先の見通しのない状態でひたすら待機させる、帰宅が遅れることを「保護者に連絡した」とアナウンスしながら実際にはしていないなど、極めてずさんかつ無責任な運営となっています。この状況で受けたテストが正当な結果とはいえないとの批判が届いています。保護者の連絡先情報を試験監督が持っているとは考えられず、都教委及びブリティッシュ・カウンシルの対応が問われます。

- ・「前半組だったのに機材トラブルで帰りが6時になった。機材トラブルの想定がされていないのはおかしい。コレで入試の点数に入るなんてありえない」（中3生）
- ・「機材トラブルのため緊張状態で1時間待たされた後に受けたテストが、正当な結果であるとは思えません」（保護者）
- ・「機材トラブルで3時半帰宅のはずが、6時帰宅になってしまい、その後の予定がつぶされた。3時間近くなんの説明もなく待たせられるのは苦痛だった」（中3生）
- ・「子供たちへは保護者へメール連絡してあるとの話だったそうですが届いておりません。遅くまで何時間も何の連絡もされなかったのはどうしてでしょうか？」（保護者）

2、ずさんな試験運営により公平・公正さが損なわれ、受験生にも過度な負担

「1」で示した会場では、運営側の対応が何重にも不適切で中学生への被害が拡大していますが、他の会場でも、試験監督のテスト開始の合図が適切でなく開始がすれた（ずれると周りの解答が聞こえやすくなり公平さが損なわれる）、合図の不備で再試験になったなどの証言がありました。

試験監督が不足していた、東北や関西から来ている試験監督がいたなどの試験運営関係者の証言もあり、さらに、試験当日に試験監督を募集していた、きちんとした研修が行われなかったという情報も別ルートから寄せられています。

試験監督による運営が不適切であることはこれまでも問題になってきましたが、改善されていません。1日かぎりのアルバイトを大量に集め、入試にふさわしいレベルでの公平・公正な試験運営を行うことは難しく、行うべきでない指摘せざるをえません。

(試験の進行が不適切で公平性が保てていない)

- ・「やる気がないように感じる説明で、みんな戸惑っていました。テスト開始の時も、ヘッドセットをつけるまえに「はじめ」と言われたので、みんな慌ててヘッドセットをつけてスタートを押しました。そのせいでスタートがズレ、極端に早い人や遅い人がいました」(中3生)
- ・「説明動画を見ている際に試験監督の年配の方が手で合図をすると事前に3回ほど自分で言っていたのに、口頭で合図をした。試験監督補助の方が手で合図をしてから、と言い直したが、もうすでに動画を始めてしまっている人が多くて、じゃあもういいです、始めてください…ってぐだぐだだった」(中3生)
- ・「監督者が試験の流れを理解していませんでした。説明の動画を全員がまだ見ているのにも関わらず、時間になったからといって試験を開始しようとした際には驚きを越えて何も感じませんでした。そして、動画の視聴中に監督者が話し始め、十分に動画を視聴することができませんでした。監督の方への研修はきちんと行われたのですか？もはや中学生である自分たちが監督をした方がスムーズにできたのではないかとすら思われました」(中3生)

(試験官の合図の不備で再試験)

- ・「試験官のスタート合図の不備で再試験となった。試験は受けられない。終わりまで拘束。再試験は1か月後。冗談じゃない。都立受験です。やり直しはきかない。受験生本人のダメージは大きすぎる」(保護者)

(マニュアルを理解していない)

- ・「とにかく試験監督の不慣れさが受験生から見ても目に見えてわかるほどです。マニュアル通りの説明しからない、だけならまだしもマニュアルのページを開くのにかかっていたり試験監督同士で相談をしていたりとかかなり不慣れな様子でした」(中3生)
- ・「トラブル対処の際、その場でマニュアルを確認していた」(中3生)
- ・「試験監督が慣れていない人で、誰かが質問しても回答に時間がかかっていた。他の会場との公平性に不安が残った」(保護者)
- ・「マニュアルが、教育現場の事を全く理解していない人が書いたのだということがよくわかる。もう、やめて欲しい。子どもがかわいそう」(試験運営関係者)

(試験監督が不足)

- ・「当日欠席した人が多く、試験監督が足りなかった。予定されていた時間までに人員配置をすることができず、バイトは休憩をとることができなかった」(試験運営関係者)
- ・「試験監督員はみな都内から出勤しているものかとばかり思っていたが、なかには東北や関西から来ている者があった。新幹線で来たものもあり、交通費も出ると聞いた」(試験運営関係者)

3、機器がスピーキングテストの実施に耐えうるものではない

(1) 大量のタブレットの不具合発生は、あまりにもお粗末

「1」で紹介したとおり、1つの会場で大量のタブレットの不具合が発生し、それが1会場にとどまりません。万全の準備をすべきところ、納品されたタブレットの動作の点検すらまともにしていなかった疑いがあります。「1」以外の会場でも、タブレット使用の途中で不具合が生じ、問題を途中でまて聞いてしまったため12月に再試験とされたという証言がありました。

- ・「いちばん疑問に思うのは、故障したタブレットがかなり多いこと。まるで動作確認をしていないかのようだ」(中3生)
- ・「機材接触不良のトラブル(こちらに非はない)があり、試験中断、一部問題を見た後だったため、別日に再受験とさせられた。なぜ全くこちらに非がないにも関わらず、わざわざ別日に再度拘束されなければならないのか納得がいかない。また、再受験の日には模擬試験の申し込みをしていたが、キャンセルせざるを得なくなった。最終的な志望校決定に向けて大事なこの時期に模擬試験を受けられなくなることは大きなマイナス」
- ・「タブレットが使えなさすぎる。すぐにエラーを起こす」(中3生)

(2) ヘッドセットも相変わらず機能せず、試験の公平・公正性を確保できていない

ヘッドセット(耳につける防音具)からの音漏れは初回のESAT-Jから繰り返し発生しているため、選択式の設問としたところ、69人(回答者の42%)が、ヘッドセットをつけても「まわりの生徒が(部分的にでも)何を言っているかもわかった」と回答しました。

同時に今回は、解答中に流れるホワイトノイズが大きすぎて自分の声が聞き取れずなかったという声が多数寄せられ、25件に上りました(自由記述欄への記載件数)。批判を避けるため今回は、ノイズを大音量で流したものと推測されます。しかし自分の声が聞こえなくては上手く話すことはできません。何とか自分の声を聞きとろうと各受験生が大声になっていたという指摘もあり、悪循環です。

さらにノイズが音に敏感な生徒に苦痛を与えており、人権への配慮が足りません。

上述の通り、先に解答した生徒の声が聞こえる、ノイズ前後に周りの解答が聞こえるなどの証言は相変わらず多く、防音具を着けさせて狭い部屋で大人数を受験させるやり方では、公平・公正を保つことは現状では不可能です。

(ホワイトノイズにより自分の声が聞こえない)

- ・「解答録音中の大きな砂嵐のような音で周りの声を聞こえないようにしていたが、めちゃくちゃうるさくて集中できないし、自分でも自分が喋ってるかわからなくなる」(中3生)
- ・「解答中に流れるザーという音がうるさすぎて、自分の声も聞き取りにくかった。なのに周りの声は一部聞こえた(大声で解答せざるを得ないからだろう)」(中3生)
- ・「人は話すとき自分自身の音声を自己フィードバックしながら話すのが自然な状態である。これを阻害したり、あるいは他人の発話内容を意識せざるを得ない状況で外国語で話せとって測るのは、もはや外国語スピーキング能力以外の何かであろう。東京都民限定の隠し芸、的な？」(保護者)

(苦痛を与え人権問題)

- ・「ノイズ音。発達障害グレーゾーンの音に敏感な子にとって、苦痛に耐えながら解答する気持ちを少し考えてみて欲しい」(保護者)

(カンニング可能な状況)

- ・「明らかに周囲の答えを聞いてから答えている子がいた」(保護者)
- ・「ホワイトノイズが流れる前後の人の解答が聞こえてしまうのは少し申し訳ない気持ちになりました。これはカンニングにならないのでしょうか」(中3生)

4、長時間拘束や昼食時間にかかる集合時間など、試験のスケジュールへの不満

スピーキングテストそのものは15分程度ですが、拘束時間は12:30～15:40と3時間に及びます。移動も含めれば5、6時間かかり長すぎるとの意見が62件もありました。集合時間が昼食にかかる時間になっていることへの意見も寄せられました。

受験生を前半後半に分け、問題漏えい防止のために拘束し続けることに対する不満、意見は、昨年、一昨年も多数寄せられており、仕方ないですませるべきではありません。

(拘束時間が長すぎる)

- ・「試験時間と説明時間合わせて30分ちょいなのに、3時間もその場でずっと座っているのは苦行でしかなかったです」(中3生)
- ・「待ち時間が長すぎます。15分のテストに対して3時間というのは正直驚きました」(中3生)
- ・「都立を受けない生徒も受験しなければならない理由がわからない。試験時間に対して拘束時間が長すぎ、受験前の時期なのに時間の無駄を感じた」(保護者)

(昼食が食べられない)

- ・「入場時間になっても正門を開けてもらえず、スタッフも来ない。警備員しかいなく警備員も開けてくれない。他の子達も門の前で12時に開くと思って軽食を持っていた子が何人もいたが、試験開始の12:30まで時間もないので食べれなかったと。我が子も昼食でおにぎり持参したが食べれず飲み物も飲めず試験となりました」(保護者)

5、3回やっても改善できずむしろ悪化している構造的な問題が浮き彫りに。

E S A T - Jの入試活用は中止しかない

アンケートにより、当日に受験できず再試験となった生徒が大量に生じたことや、とても入試活用できない状態で受験させられた生徒がいたという、驚くべき状況が明らかになりました。都教委が「終了時刻の遅延」のみ公表し、これらの事実を隠蔽していることは許されません。

入試に関わる試験でこれだけ深刻なトラブルがあれば当然、記者会見を開き、受験生、保護者、都民に詳細を公表・謝罪し、不公平な状況を是正する措置をとるべきです。「適切に行われた」と強弁す

るのは、行政としての倫理観や責任を放棄していると言わざるをえません。

しかも、会場 A のような大規模なトラブルについて、会場の試験監督のみで対応するはずがなく、トラブルに適切に対処できず拡大させている都教委の責任は重大です。

今回の試験では、タブレットも、ヘッドセットも、試験監督の人数や質も、入試活用に求められる水準で確保できていないことが明らかになりました。これはブリティッシュ・カウンシルの契約不履行であり、都教委は契約解除などの毅然とした立場で臨まなければ、都民の税金を使う事への責任を果たせません。

私たちは昨年、スピーキングテストの技術が大規模の一斉実施の入試に対応できるほど発展していないことや、試験監督や機器にコストがかかることから、テストを請け負う民間事業者が変更になったとしても問題は解決しないと指摘しました。そして、その犠牲になるのは生徒たちや試験の公平性・公正性だと主張しました。今年の結果はまさにそれを証明しています。

ずさんな試験に対し、中学生も怒りの声をあげています。

このことを真剣に受け止め、ESAT-J の入試活用を中止することを、改めて強く求めます。

- ・「こんなテストは早急に中止して欲しいです。都が行うには段取り悪すぎます。受験生の私達には非がまったくないにも関わらずどうして再受験して時間をまた奪われなくてはいけないのか…都の行うことには本当に失望です。私たちの税金でこんなクソみたいなテストを行うなんて税金の無駄遣いと思えません。それなりの措置を行うことを私は期待しています」(中3生)
- ・「そもそも、この試験はいらないと思う。試験にお金を使うより、普段の授業を充実させるためにお金を使ってほしい」(中3生)
- ・「スピーキングテストなんて絶対いらない。設備も整ってないし、挙句職員バイトだしね」(中3生)
- ・「子話を聞いて、試験監督が手順を理解していないのではないかと思った。公平な条件下での試験が実施できないのなら受験に使用しないでほしい」(保護者)
- ・「こんなことのために学校外でも準備したりこの時期に半日拘束される中学生も、経緯を伏せてただ大金を使われてしまう都民全体をも馬鹿にした仕組みだと思います。断固としてスピーキングテストの実施をやめるべきです」(保護者)

以上

(資料)

#ESAT-J実施状況調査2024 質問項目

(1のみ必須)

- 1、あなたの属性・お立場（どんな方ですか？）
○中学3年生 ○中学3年生の保護者 ○中学3年生の家族（祖父母や兄弟など） ○試験運営関係者（試験監督、電話対応担当者など） ○都内中学校教員 ○都立高校教員 ○都教委職員○塾講師 ○その他（ ）
- 2、受験した（関係した）試験会場はどこですか（できるだけご回答をお願いします）（記述式）
- 3、スピーキングテストの状況について教えてください
①まわりの生徒の解答する声が聞こえましたか
○声は聞こえて何を言っているかもわかった（部分的にでも） ○声は聞こえたが何を言っているかはわからなかった ○まわりの生徒の声は聞こえなかった
②前半組の生徒が解答する声が聞こえましたか
○声は聞こえて何を言っているかもわかった（部分的にでも） ○声は聞こえたが何を言っているかはわからなかった ○前半組の生徒の声は聞こえなかった ○前半組だった（気が付いたことがあれば3―⑥に）
③ヘッドセット、タブレットなど機器について困ったことはありましたか
○困ったことがあった ○困ったことはなかった
④自分の声の録音確認の際に、まわりの生徒の声が録音されていましたか
○録音されていた ○録音されていない
⑤前半組の試験が終了してから後半組の試験が始まるまでに、前半組と後半組の生徒の接触がありましたか
○接触があった ○接触はなかった ○わからない
⑥ ①から⑤の具体的な様子や気づいたこと、変だな、いやだなと思ったことなどをお書きください（記述式）
- 4、試験日が11月24日という日程は適切だと思いますか
○試験日が早すぎる ○11月24日で適切だと思う ○試験日が遅すぎる
- 5、試験当日のことで情報提供したいことがあれば、番号を選択の上、具体的にお書きください（複数選択可）
○試験の内容について ○受験会場の様子や会場までの交通について ○試験監督について ○食事場所や健康に関することについて ○テスト中の他のトラブルについて
■5について具体的にお書きください（記述式）
- 6、Web登録（7～9月）について困ったことがありましたか（登録がされていなかった、間違って登録されていた等）
○困ったことがあった ○困ったことはなかった
■6について具体的にお書きください（記述式）
- 7、試験当日以外のことで次の各項目について情報提供したいことがあれば、番号を選択の上、具体的にお書きください（複数選択可）
○事前の学校や東京都教育委員会からの情報提供の時期や内容について ○申し込み方法について ○電話窓口の対応について ○その他
- 8、その他ご意見などをお書きください（記述式）
- 9、もしよろしければ連絡先をお願いします（あとから内容の確認のためにご連絡をさせていただくことがあります）（記述式）

■